主要事業２

**府立学校スマートスクール推進事業費≪新規≫**

**【事業目的】**

１人１台端末などＩＣＴを活用した新時代の教育（国ＧＩＧＡスクール構想）を実現するため、府立学校のＩＣＴ環境の整備とＩＣＴを活用した事業を「スマートスクール事業」として実施し、今後の事業展開へ向けたモデル整備を行う。

**【当初予算額】　　163,936千円**

**【事業内容】**

**（１）最大の効果を出せる基盤（ハード）整備（139,142千円）**

**①全府立学校にGIGAスクール構想実現のための基盤整備（125,282千円）**

ネットワーク機器・無線アクセスポイントの保守費（※）

　　　（※整備に要する経費は、R元年度第４号補正予算に計上）

**②４つの取組みに係る基盤整備（13,860千円）**

回線増強費、大型提示装置整備費、タブレット端末保守費、ICT支援員費

**（２）４つの取組みに係るモデル（ソフト）整備（24,794千円）**

府立学校の４つの課題に合わせた５拠点を選定し、今後、全校展開するICT基盤の有効活用に向けたモデル整備を行う。

**①日本語指導等重点実施校**

増加する外国にルーツのある生徒への対応

（975千円）

・遠隔地にいる同一母語の生徒間をつなぐ教育（タブレット端末の整備）

・拠点校の授業を他校に配信

（テレビ会議システムの整備）

**②大阪府高等学校教育支援センターの充実**

登校の意思があるにもかかわらず登校できない子どもへの支援の充実　　　（294千円）

・在籍校との相互通信による教材提供・指導・支援の強化

（タブレット端末の整備）

**③国内外で活躍する人材育成校**

社会のグローバル化に対応できる英語力の

育成 （21,428千円）

・英語のスピーキング力を的確に把握するツールを開発・活用（能力測定ツールの開発及びタブレット端末の整備）

・グローバルな課題の解決に向けた海外の高校生との共同研究（タブレット端末及びテレビ会議システムの整備）

**④知的障がい支援学校における就労支援の充実**

一人ひとりの自立と共生社会の実現に向けたICT活用　　　　　　　　　（2,097千円）

・VRを活用したソーシャルスキルトレーニング（VRゴーグルの整備）

・障がいの種別に応じ、個別最適化（AI）ドリルの活用（タブレット端末の整備及び個別最適化（AI）ドリルの活用）